

# 大学図書館経営の新境地を拓く

慶應義塾大学 文学部  
高山 正也

## 図書館経営の一般原則

### ◆図書館学とは

- ・ 図書館員の行動指針
- ・ 全ての館種に適用可
- ・ 図書館に固有である必要なし

(by Donald Urquhart)

## 図書館員の意識と図書館経営

- 図書館経営＝
  - \* コミュニティでの図書館の位置づけ
  - \* 外部環境適応
- 図書館員の意識＝
  - \* 図書館内から図書館内への視点
  - \* 内部環境調整型

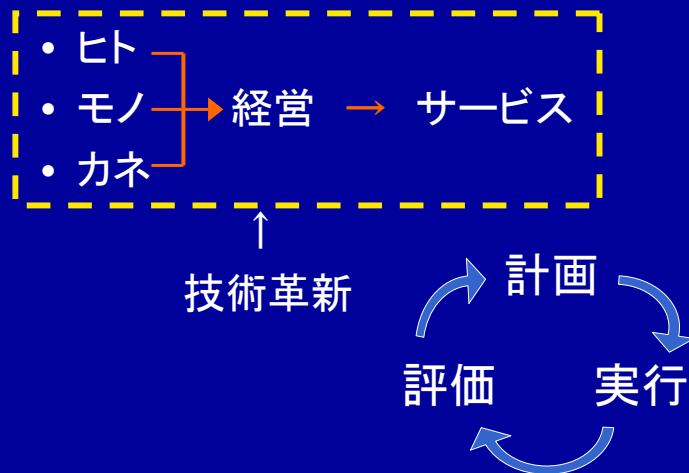
## 図書館運営の分析視点

- 経営の一般原則
- 経営の要素:ヒト、モノ、カネ
- マネジメント・サイクル
- 非営利機関(図書館)経営の特性
- 使命の重視
- 図書館の評価

## 図書館経営の資源

- 経営の要素＝経営の資源
- ヒト:専任の専門職  
→派遣職員、アルバイト
- モノ:自前のコレクション  
→コレクション・シェアリング
- カネ:与えられた予算  
→自前の財源

## 図書館の経営過程



## 情報サービスの目標

- **Just in Case** (適合情報)
- **Just in Time** (適時情報)
- **Just for You** (必要な、欲しい情報)  
必要十分な価値ある情報

## 新・旧サービスの対比

- 来館・閲覧・貸出
- 検索・提供
- 適合情報

前提:

利用者=>  
コンテンツの専門家情報サービス=>  
補助的業務

- 非来館利用
- 情報の(価値)創造
- 利用者満足

前提:

利用者=>  
情報を求める人  
情報サービス=>  
指導的業務

# 情報管理システムの変化

伝統的(手作業・紙媒体)図書館



機械化図書館



電子図書館

## 電子化による情報サービスの変化

- 装置の必要性
- 速報性
- 遠隔利用
- 同時複数利用
- 改訂可能性
- 編集容易性
- アクセス容易性

## アクセス概念の拡大

- 書誌的(指示的)アクセス
  - 物的アクセス(伝統的図書館サービス)
- 

- 言語的アクセス
- 概念的アクセス

## 技術の進展と 情報情報サービスの変化

- 情報管理システムの変化
  - 情報サービスの変化
- ⇩
- アクセス概念の拡大とサービスの  
多様化・高度化  
=従来 of 検索理念の終焉

## 新たな経営資源

- 人的資源(これからの職員=ヒト)
- 情報資源(モノ)
- 財源とその管理(カネ)

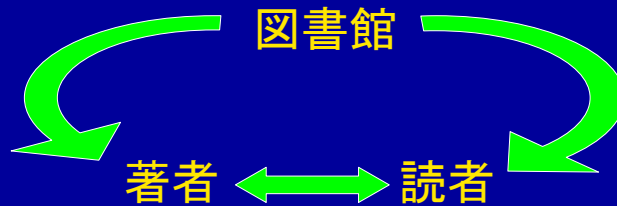
## 職員の問題: {ヒト}

- (1) 習得すべき知識;  
情報の組織化、情報の社会学、情報の理論、  
情報管理システムの運営
- (2) 養成すべき能力;
- (3) 期待される能力;
  - \* 職能
  - \* 資質

# デジタル情報によるサービスの 変容(1)

- 情報の流通

著者 → 図書館 → 読者 (川下型)



図書館 → 著者 → 出版者 (川上型)

## 情報資源の多様化とそれへの 対応: {モノ}

- 電子出版の普及とそれへの対応
- 蔵書概念の再構築



## 情報資源のデジタル化

- 紙媒体資料の購入  
所有権の移転⇒固定資産の増加
- デジタル資料の講読  
アクセス権の購入⇒費用の増大

## 図書館の財務会計: {カネ}

- (1) 図書館のサービス・コスト
- (2) 図書館の資産評価  
現金主義 ⇨ 発生主義

# 図書館会計の現金主義： その問題点

- (1)蔵書価値の表示
- (2)外部情報資源活用による蔵書空洞化
- (3)財源開拓の可能性

## 私立大学貸借対照表の構造

### 【資産の部】

#### 流動資産

(現金預金)  
(有価証券)

#### 固定資産

##### 有形固定資産

(土地)  
(建物)

##### その他の固定資産

(有価証券)

##### 特定引当金合計

(退職給与引当金)

(施設設備引当金)

(減価償却引当金)

(その他引当金)

(第3号基本金引当資産)

### 【負債の部】

#### 債

(短期借入金)

(学校債)

(未払金)

(前受金)

#### 固定負債

(長期借入金)

(学校債)

(退職給与引当金)

### 【自己資金】

基本金

消費収支差額

### 流動負

## 図書館の経営管理権

- 図書館は経営単位になりうるか？
- 会計単位か、コストセンターか
  - ⇒ 附属図書館か、コンソーシアムか
- 人事管理の独立性を保てるか
  - ⇒ 専門職制の確立  
(採用、昇進、処遇)

## 経営の見直し: 新資源の管理

- 発想の転換とタブーの排除
  - 専門職を内に置くか外に置くか
  - 専門サービスの購入
- 経営資源の一体的見直し
  - ヒト・モノ・カネの一体的見直し
  - アウトソーシング
- 一大学一図書館？

ご清聴、ありがとう  
ございました。

慶應義塾大学 文学部  
高山 正也